

CASBEE神戸 ver.2 【仮称】新御崎西住宅建設工事		欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE神戸 ver.2 ■評価ソフト: CASBEE神戸 ver.2 / CASBEE-BD_1		
スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.2
Q1 室内環境			0.40			3.2
1 音環境		3.0	0.15	2.9	1.00	2.9
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音		3.0	0.50	2.8	0.50	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	2.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		-	-	-	-	
2 温熱環境		2.0	0.35	3.0	1.00	2.7
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	1.00	
1 室温		3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能		3.0	0.38	3.0	1.00	
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		2.3	0.25	4.0	1.00	3.6
3.1 昼光利用		2.4	0.30	4.0	0.50	
1 昼光率	住居部分: 昼光率2.80%	2.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策	カーテン、庇によりグレアを制御	3.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光制御	カーテン、庇によりグレアを制御	3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		1.0	0.25	-	-	
4 空気環境		3.6	0.25	3.8	1.00	3.8
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建材を使用	4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.40	3.6	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能	住居部分: 居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保	-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		-	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.1
1 機能性		3.8	0.40	3.2	1.00	3.3
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画	建築物移動等円滑化基準の最低限レベルを満たしている	4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観	居室の天井高が平均で2.5m以上	-	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画	神戸市設計基準に準拠、LED照明の採用	4.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	タイル、長尺塩ビシート等により高い防汚性を確保	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		2.9	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		1.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	CFシート、ビニルクロス貼: 20年	4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給排水管等に硬質塩化ビニル管の採用(耐用年数: B)※Eは不使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性			2.8	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	
1	階高のゆとり	階高2.9m以上	-	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.2
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		植栽により良好な景観を形成	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		外構緑化指数:57.11%	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.93	4.7	0.50	-	-	4.7
		集合住宅以外の評価(3a.3b)	-	-	-	-	
		集合住宅の評価(3c)	4.7	1.00	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
		集合住宅以外の評価	-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
		集合住宅の評価	3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1		雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
2		雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		内装材と設備が錯綜せず、容易に解体・改修・更新が可能	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1		消火剤	-	-	-	-	
2		発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	-	
3		冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルC2排出率81%	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.6	0.25	-	-	
1		雨水排水負荷低減	-	-	-	-	
2		汚水処理負荷抑制	3.0	0.33	-	-	
3		交通負荷抑制	4.0	0.33	-	-	
4		廃棄物処理負荷抑制	4.0	0.33	-	-	
		住戸数に対して十分な駐車スペースを確保					
		ゴミの多種分別回収可能なストックスペースを確保					
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1		騒音	3.0	1.00	-	-	
2		振動	-	-	-	-	
3		悪臭	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1		風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
2		砂塵の抑制	1.0	-	-	-	
3		日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1		屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	0.70	-	-	
2		昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	
		光害対策ガイドライン項目の一部を満足、広告物照明の不採用					